

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第83回）に係る面談
2. 日時：令和2年8月31日（月） 14時30分～17時20分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 金子審議官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、松井安全審査官、田上係長、久川係員

長官官房 技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門

青木主任技術研究調査官

福島第一原子力規制事務所

小林所長、坂本検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

本社8名、福島第一原子力発電所6名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第83回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 福島第一原子力発電所 固体廃棄物の保管管理計画の改訂及び廃棄物の再利用の考え方について
- 至近のプラント状況や試験結果を踏まえた実施計画Ⅲ 第1編 第18条, 第19条, 第25条の変更について
- 地震・津波対策の進捗状況について
- 建屋滞留水処理等の進捗状況について
- 1/2号機 SGTS 配管撤去に向けた今後の調査方針について
- 3号機 燃料取り出しの状況について
- ALPS 処理水の全ベータ値と主要7核種の合計値のかい離について
- 福島第一廃炉推進カンパニーの組織改編後の状況について

○原子力規制庁は、上記説明内容を確認するとともに以下についてコメントした。

- 固体廃棄物の保管管理計画に係る金属の再利用について、各対象物に含まれている核種等のデータを追加すること。また、検討している除染方法において実施する汚染拡大防止対策について説明を追加すること。
- 焼却灰に含まれる核種について、全体像を把握するために分析データを拡充する

こと。

- 建屋滞留水処理等の進捗状況については、サブドレン・地下水ドレンの水位低下等に係るスケジュールについても示すこと。
- 1/2号機 SGTS 配管撤去に向けた今後の調査方針については、9月4日に予定している SGTS 配管のガンマ線スペクトルの測定結果を踏まえた内容を確認する。
- 3号機の燃料取り出しに係る吊り上げ荷重設定の見直しについて、応力評価等に関する説明を参考として追加すること。
- 福島第一廃炉推進カンパニーの組織改編に伴う社外専門人材との合同検討体制の設置について、構築した検討体制と対応内容の説明を追加するとともに、改編によって PG/PJ の要員に過不足がないか確認できるよう具体的に実例を示すこと。また、CR 起票数と不適合件数との関係性について説明を追加すること。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 福島第一原子力発電所 固体廃棄物の保管管理計画 ～2020 年度改訂について～（案）
- 至近のプラント状況や試験結果を踏まえた実施計画Ⅲ 第1編 第18条, 第19条, 第25条の変更について（案）
- 地震・津波対策の進捗状況（案）
- 建屋滞留水処理等の進捗状況について（案）
- 1/2号機 SGTS 配管撤去に向けた今後の調査方針について（案）
- 3号機 燃料取り出しの状況について（案）
- ALPS 処理水の全ベータ値と主要7核種の合計値のかい離について（案）
- 福島第一廃炉推進カンパニーの組織改編後の状況について（案）
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）